



環境経営レポート

 株式会社石宝

2023年度
(対象期間2023年7月1日～2024年6月31日)
2024年8月8日発行



目次

1. 組織の概要	3
2. 事業内容	4
3. 環境経営方針	5
4. 推進組織図	6
5. 環境経営目標・取組結果の数値	7
6. 環境経営計画・取組結果と 評価・次年度の取り組み内容	8
7. 環境関連法規等の取りまとめ一覧 及び遵守状況確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9
8. 代表者による全体評価・見直し指示	10
9. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	11

1. 組織の概要

〈名称〉

株式会社 こくほう 石宝

〈代表者〉

代表取締役社長 石橋 秀

〈所在地〉

群馬県太田市原宿町3409-1

〈設立日〉

昭和47年7月28日

〈資本金〉

3,000万円

〈売上高〉

25.2億円（令和5年度）

〈従業員数〉

48名（令和6年6月30日現在）

〈環境管理責任者・連絡先〉

環境管理責任者：代表取締役専務 酒井 清

連絡担当者：吉本 正之

TEL：0276-37-1921

〈対象範囲〉

株式会社石宝 全社員・全組織

2. 事業内容

■ 営業品目

一般土木、舗装、水道工事の設計・施工・管理
建築工事の設計・施工・管理
道路用砕石・アスファルト合材・乳剤の販売、他道路用資材全般取扱
産業廃棄物収集・運搬

◇ 特定建設業

許可番号：群馬県知事許可 特-30 第1329号

舗装工事、土木一式工事、建築一式工事

◇ 一般建設業

許可番号：群馬県知事許可 般-30 第1329号

大工工事 とび・土工工事 屋根工事 鋼構造物工事 屋根工事
塗装工事 防水工事 内装仕上工事 水道施設工事 解体工事

◇ 産業廃棄物収集運搬業（自社排出分のみ）※

群馬県 01000003960号

栃木県 00900003960号

◇ 倉庫業 ※

※はエコアクション21対象範囲外

3. 環境経営方針

〔基本方針〕

当社は、『ひとりみんなのために、みんなはひとりのために』をモットーに培った幅広い知識と経験で迅速かつ安全で耐用期間の長い舗装施工を行っております。社員一同、信頼とチームワークを分かち合い、社会インフラとしての土木工作物、生活を豊かにする建築物の提供を通じて地域の皆様に貢献することを目指します。

<環境への取組の重点分野>

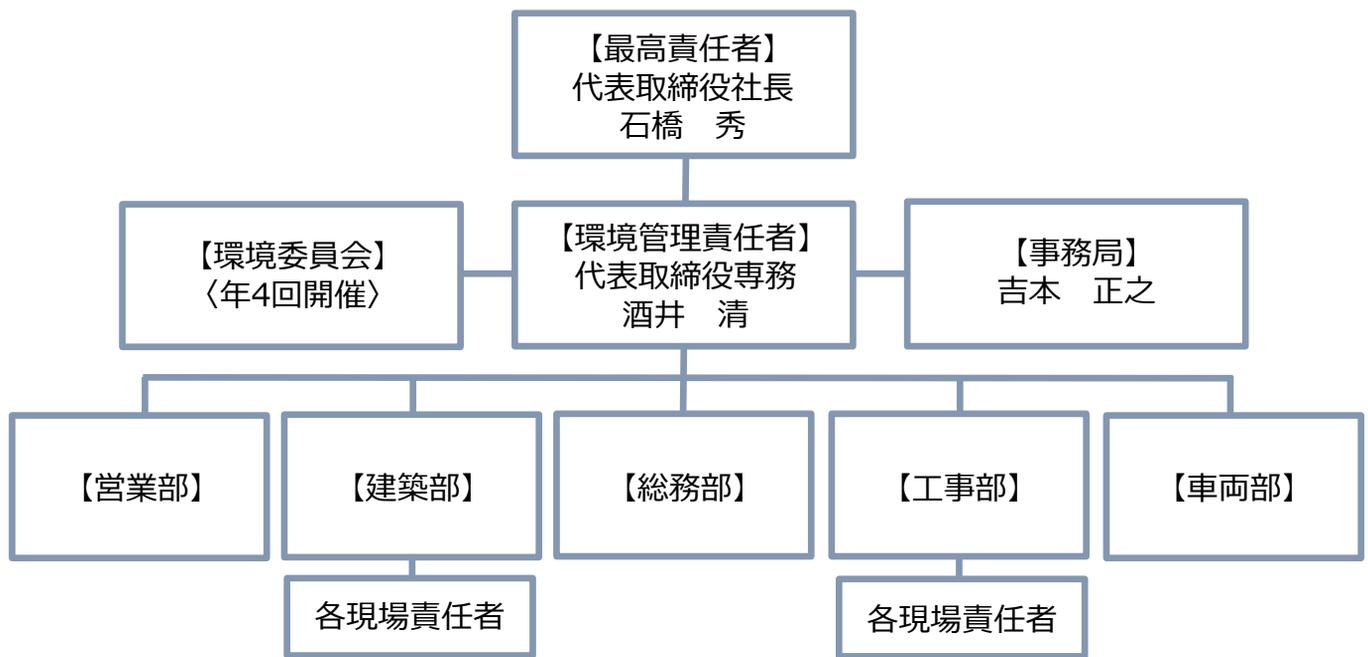
1. 環境負荷低減のための施工計画の策定及び施工の推進
2. 節電、省エネ型重機の導入及び使用による二酸化炭素排出量の削減
3. 建設現場から排出される産業廃棄物の適正処理及び建設リサイクルの推進
4. 環境経営の継続的改善の実施
5. 事業活動において適用される環境関連法規等の遵守
6. 環境経営方針の全社員への周知
7. 環境に関する情報の社内外への公表及び地域社会とのコミュニケーションの実施



2023年 8月 1日

株式会社 石 宝
代表取締役社長 石 橋 秀

4. 推進組織図



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役社長 石橋 秀】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務にかかわりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。 ⑤当社における課題とチャンスを確認にする
環境管理責任者	<p>【代表取締役専務 酒井 清】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	<p>【吉本 正之・永井 均】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	<p>【最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成、年4回招集】</p> <p>環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が認めた者は出席することができる。</p>
全従業員	<p>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加する。</p>

5. 環境経営目標・取組結果の数値

1. 二酸化炭素排出量の削減 〈基準年度年度実績比 -2%〉
2. 一般廃棄物排出量の削減 〈基準年度年度実績比 -2%〉
3. 産業廃棄物排出量の削減 〈基準年度年度実績比 -2%〉
4. 水資源投入量の削減 〈基準年度年度実績比 -2%〉
5. 化学物質の取扱の適切な管理

達成 未達成

対象項目		単位	基準年度	2022年度		2023年度		2024年度	
			2021年度	目標	実績	目標	実績	目標	実績
電気使用量	年度	kWh	37,593	37,217	-	36,841	54,210	53,668	
	3か月間		10,327	10,223	12,695				
	削減率			基準年度比-1%	123%	基準年度比-2%	68%	前年度比-1%	
ガソリン使用量	年度	L	48,290	47,807	-	47,324	47,224	46,841	
	3か月間		11,771	11,653	10,216				
	削減率			基準年度比-1%	86.8%	基準年度比-2%	100%	基準年度比-3%	
軽油使用量	年度	L	118,690	117,503	-	116,316	105,868	115,129	
	3か月間		30,982	30,672	27,529				
	削減率			基準年度比-1%	88.8%	基準年度比-2%	109%	基準年度比-3%	
二酸化炭素排出量 (電力・化石燃料)	年度	kg-CO ₂	425,373	421,119	-	416,865	404,321	412,611	
	3か月間		111,796	110,678	100,323				
	削減率		kg-CO ₂ /百万円	175.74	173.98	165.98			
				基準年度比-1%	94%	基準年度比-2%	103%	基準年度比-3%	
産業廃棄物排出量	年度	t	1,412	1,397	1,206	1,383	318	1,369	
水使用量	年度	m ³	282	279	-	276	239	273	
	3か月間		65	64	66				
	削減率			基準年度比-1%	101%	基準年度比-2%	115%	基準年度比-3%	

※事務所移転に伴う電気使用量の変化に伴い、2024年度の電気使用量の目標を前年度比-1%とします。

※化学物質は取扱量が少量のため、適切に管理し、購入量の把握とSDSの入手を行います。

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数：0.398 kg-CO₂/kWh 【東京電力エナジーパートナー】

6. 環境経営計画・取組結果と評価・次年度の取り組み内容

◇ 活動評価：◎よくできた、○概ねできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

目的	区分	項目	活動内容	評価	評価内容	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	電力消費量の削減	照明	1.消灯の徹底	◎	昼休憩は完全消灯	継続
			2.省エネ照明器具の導入	◎	全てLED化済	継続
		空調	1.設定温度の調整	△	夏場に課題あり	細かな確認要
			2.クール・ウォームビズ	◎	作業服も使分け済	継続
			3.フィルターの定期清掃	◎	業者依頼済	継続
	その他	4.不使用部屋の空調停止	◎	徹底している	継続	
		1.OA機器の節電	×	PC常時ON散見	電源OFF徹底	
	ガソリン・軽油消費量の削減	乗用車	2.残業時間の短縮	○	概ねできている	拡大
			1.エコドライブの実施	◎	ガソリン使用量微増	再度周知する
		ダンプ 重機	2.日常・定期点検の実施	○	車両部で実施中	再度徹底する
3.エコカーの導入			○	新車1台導入済み	拡大	
4.排ガス対策機械の導入			◎	新車3台導入済み	継続	
5.過積載の禁止	◎	周知・徹底している	継続			
廃棄物排出量の削減	事務所及び現場書類	1.両面コピー実施	○	概ねできている	拡大	
		2.裏紙等の再利用	◎	徹底している	継続	
		3.封筒の再利用	△	より周知が必要	再度周知する	
		4.FAXによる通信の削減	○	電子やり取り増加	再度周知する	
		5.破棄物の分別とリサイクル	○	概ねできている	継続	
		6.名刺の自社制作	◎	完全に実施	継続	
	工事副産物のリサイクル	1.分別の徹底とリサイクル	○	概ねできている	継続	
		2.マニフェストの電子化	△	導入調査段階	導入計画策定	
		3.再資源化率の向上	○	概ねできている	拡大	
	水使用量の削減	1.節水への喚起	◎	使用量削減	継続	
2.異常値の監視		◎	毎回伝票で確認中	継続		
3.自動止水栓の設置		◎	可能箇所は全て設置	継続		
化学物質取扱と適切な管理	1.取扱商品（化学物質含有）の調査	○	一部調査済み	調査拡大		
	2.購入量の把握	○	概ね把握している	継続		
	3.SDSの入手	○	一部入手・確認済	対象拡大		
本業に関する目標	1.生物多様性等地域環境に配慮した工法の採用（工法の提案及び採用件数を把握する）	○	2件ICT施工実施	継続		
	2.環境負荷の少ない工法の提案及び採用（工法の提案及び採用件数を把握する）	○	下請の現場でもICT施工実施	継続		
環境経営目標の達成状況、環境経営計画の確認				◎	把握中の段階	継続

7. 環境関連法規等の取りまとめ一覧及び遵守状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

◇ 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等名称	遵守事項	遵守状況
建設業法	許可更新、変更届提出	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守、コンプレッサー原動機の定格出力7.5kW以下	遵守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守、コンプレッサー原動機の定格出力7.5kW以下	遵守
建設リサイクル法	分別解体、特定建設資材廃棄物再資源化	遵守
道路交通法	法定速度遵守、輸送の安全、積載量の遵守	遵守
道路法	道路の保全等、車両積載物落下防止措置	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの交付、回収、保管の適正処理	遵守
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検、建築物解体等のフロン回収	遵守
消防法	消火器の設置、点検、少量危険物で運用	遵守
浄化槽法	浄化槽保守点検、指定検査機関法定検査	遵守
オフロード法	排出ガス対策型建設機械の適合表示	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡、再資源化預託金	遵守

※ 環境関連法規制等の遵守状況確認の結果、違反や逸脱はありませんでした。尚、関連当局より違反等の指摘及び訴訟等はありません。

8. 代表者による全体評価及び見直し・指示

〔全体評価〕

エコアクション21の取組も二年目となり、以前より社員一人一人が環境に配慮する取り組みができていないかと感じます。

2023年度の結果としては、当初の目標より二酸化炭素排出量を削減することができませんでした。ガソリン・軽油の使用量は目標より削減となりましたが、工事場所や内容で左右される要素もあるので、引き続き環境に配慮した運転や工事方法を心がけてほしいと思います。

事務所移転に伴う使用量の変更はありますが、残念ながら電気使用量は大幅な増加となっております。主な原因はエアコンの稼働によるものですが、近年の気候を考慮すれば、通年稼働も致し方なく感じます。そこで、設定温度や風量設定の方法の見直しはもちろん、あらたに太陽光発電設備や蓄電池の導入の検討も必要かもしれません。

今回初めて1年を通じて活動を行って、あらためて感じたことは、日々の環境配慮の重要性です。各々が日々の活動の中で、少しでも環境保護へつながるような選択をすることで、必ず結果はついてきます。逆に「少しくらい」とか「今日だけは」等の気持ちで行動すれば、いとも簡単に悪い結果へとつながりますので、もう一度日々の行動を見直し、どんな小さなことでも、環境配慮へとつながる選択をするよう心がけてください。

〔見直し・指示〕

今年度は、電気使用量をしっかりと削減できるよう取り組みましょう。特にエアコンの使用方法については再度運用方法を見直してください。

また、使用量を減らすだけでなく、太陽光発電設備や蓄電池の設置も重要な手段だと思いますので、当社にとってどのような設備が有効なのか検討をはじめてみてほしいかもしれません。

その他、常に環境配慮の意識を持ち、また、小さなことでも、よりよい環境づくりへつながる選択をしながら、日々の活動を進めてください。

株式会社 石 宝

代表取締役社長 石橋 秀

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし

9. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

環境掲示各種



道路 クリーン 作戦



環境への取組

株式会社石室
SDGs宣言

宣言日 2024年4月24日
宣言者 代表取締役 石橋 勇

当社は環境が実現する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、積極的な取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

当社の取り組み

人権・労働
社員一人一人の人権を尊重し、いかなる場合も人権侵害行為を許さず、安全で健康的な労働環境の提供に努めます。

環境
事業活動のあらゆる領域で環境負荷低減に努め、気候変動対策の推進に貢献してまいります。

社会貢献・地域貢献
地域社会と協働し、地元人材への雇用機会の創出に努めます。

ICT施工
施工工程の効率化、安全性の向上に努め、顧客満足度を高めます。

SDGs宣言書
株式会社石室
2023年4月27日

SDGsの達成に向けて、後述の取組を各社内外に詳細をふまけて推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組の推進をここに宣言します。

社会課題解決への貢献
「ひとりよがりなために、みんなのつよのために」を企業理念としてこれまでに培った幅広い知識と経験で、社会インフラの整備を行い、安心・安全な地域社会づくりに貢献します。

環境安全への取組
自社に使用する建設機械や工具の点検に努めるとともに、省エネ型設備導入を促進します。環境基本方針を制定し、エコアクション21を推進した活動を実施します。

3 人権の尊重
高年齢や外国人等多様な従業員を積極的に雇用し、誰もが活躍しやすい職場環境を形成します。

4 地域社会への貢献
クリーン作戦（清掃活動）や地域の道路維持の清掃作業を行い、安全な暮らしを支えることに貢献します。

令和6年度群馬県環境CS事業賞に認定しました
令和6年5月4日
群馬県知事 山本

ICT施工



各種清掃活動

